

学士課程教育の質的転換への好循環の確立

資料2

中央教育審議会大学分科会大学教育部会(第11回)

- ・先の見えない今の時代を生きる若者や学生が「生涯学び続け、どんな環境でも勝負できる能力」をやしない、技術や技能を身に付けることができる大学へ
- ・そのためには、学生が主体的な学びを深めるとともに、学生同士が切磋琢磨し、刺激を受け合いながら知的に成長することができるよう、課題解決型の能動的学修といった学生の思考や表現を引き出しその知性を鍛える双方向の授業を中心とした質の高い教育へと学士課程教育を質的に転換

